＜博士後期課程＞

重点課題演習（１年～３年　必修・演習３単位）　　保健学専攻主任　緒　方　裕　光

【授業の到達目標および概要】

本演習は、健康科学、臨床病態生化学、実践学校保健学の３領域にわたる領域横断的な「重点課題」を定め、毎年、1～２のテーマで行われる演習である。その目的は、学生の幅広い保健学の知識と情報の共有、現実的な課題への対応力の強化にある。毎年、最低１回以上、いずれかの領域から重点課題を定め、演習を行う。令和３年度は、健康科学領域担当の教員をコーディネーターとして、第一線で活躍されている先生や他分野の研究者を招き、シンポジウム形式で行う予定である。但し、状況によりオンライン開催とする。

【授業計画】

開催時期：9 月末から 11 月中旬

①～④ 担当教員から指示された事前演習課題に取り組む

⑤～⑧ 外部講師を加えたワークショップへの参加（積極的に議論に加わる）

⑨～⑫ 院生同士の事後演習（ワークショップの総括討論を含む）とレポート作成

⑬⑭ まとめ

【授業外学習】

前述の事前，事後演習に向けて，各人が文献講読等の予備調査を行う。

【成績評価の方法・基準】

演習への参加態度、発言等にみられる内容理解、演習課題に関するレポートの評価によって行う。

【教材】

担当教員によって指示されたもの。

【備考】

なお、博士後期課程の 1、2 年生を対象に、毎年 12 月に開催している博士後期課程の中間発表会もこの「重点課題演習」に準じるものとする。